

北九州市宿泊税に関する調査検討会議について

「北九州市宿泊税に関する調査検討会議」の開催について、下記のとおり報告するもの

記

1. 第1回「北九州市宿泊税に関する調査検討会議」の開催について・・・【資料1】

(1) 日時：令和元年6月28日（金）14：00～

(2) 場所：西日本総合展示場 新館3階 303会議室

(3) 検討事項

① 本調査検討会議の論点

② 福岡県及び福岡市が導入を予定している宿泊税の概要

③ 財政需要について

④ 税以外の適切な手法の検討

⑤ 課税要件等の検討

(4) 主な意見等

- ・ 北九州市の観光振興のために使うので、福岡市と同様の150円と言わず、170円でも180円でも市に割り振って良い気がする
- ・ 宿泊料金によって宿泊税（200円）の重みが違う
- ・ 宿泊事業者の事務負担に配慮すべき
- ・ 宿泊税による財源をどのように還元するか
- ・ 北九州市は観光資源についてPRが不十分
- ・ インバウンド対策や夜間イベントの開催など、宿泊者数増に向けた施策に財源を活用すべき
- ・ 観光案内所の機能を強化すべき
- ・ 福岡県の課税要件に合わせるべき
- ・ 修学旅行等の学校関係に対する課税免除の検討

2. 第2回「北九州市宿泊税に関する調査検討会議」の開催について・・・【資料2】

(1) 日時：令和元年7月11日（木）10：00～

(2) 場所：西日本総合展示場 新館3階 301・302会議室

(3) 検討事項

- ① 前回会議を踏まえた方針の確認
- ② 宿泊事業者及び旅行者へのアンケート調査結果
- ③ 財政需要（宿泊税の使途）についての検討
- ④ 宿泊税の課税要件についての検討
- ⑤ 宿泊者へのアンケート調査
- ⑥ パブリックコメントの実施について

(4) 主な意見等

- ・北九州市による宿泊税の導入は、徴税コストも考慮する必要がある。
- ・検討会議の方針として北九州市として宿泊税を導入する（委員合意事項）
- ・アンケート結果と検討会議の議論を見ると一致しているところが多く、本会議での議論が客観的視点に基づいていると考えられる。
- ・案内サインやトイレなど、受入環境整備については、優先順位を上げて対応すべき
- ・アンケートの結果、「北九州市が周遊観光ルートの起点・拠点となっている」が21.7%と低いため、上げていくための取組みが必要である。
- ・観光案内所は、おもてなしの玄関口。ハード整備や人材育成が重要である。
- ・観光振興について、様々取組みが必要であり、観光振興プランとの連携が重要である。
- ・長期的な観光振興のためには、安定的な財源であることが重要である。
- ・修学旅行については、課税免除としないが、その分還元できる施策が必要である。
- ・高額な宿泊料金の部屋数が少ないことから、現段階では税率区分は設けないことが望ましい。

3. パブリックコメントの実施について・・・【資料3】

4. 第3回「北九州市宿泊税に関する調査検討会議」の開催予定について

(1) 日時：令和元年7月30日（火）14：00～

(2) 場所：西日本総合展示場 新館3階 301・302会議室

(3) 検討内容（予定）

- ① 北九州市宿泊税に関する調査検討会議報告書（案）
- ② 宿泊者へのアンケート調査結果